



# 京浜港共同ビジョン

(概要版)

平成22年2月10日

東京都・川崎市・横浜市

# 1 京浜港共同ビジョンとは

## 京浜港共同ビジョンの位置づけ

- ◆ 「京浜三港の広域連携強化に係る基本合意」（平成20年3月）に基づき、今後の京浜港の実質的な一港化に向けた港湾経営と港湾整備の方針を示すものとして策定しました。
- ◆ 今回策定した京浜港共同ビジョンの方向性に基づき、今後、各港の港湾計画の基本となる「京浜港の総合的な計画」の策定を進めていきます。

### （参考）京浜三港の広域連携強化に係る基本合意

東京都、川崎市、横浜市は、アジア諸港の躍進等により、日本港湾の国際的地位が低下していくなか、積極的な対策を講じなければ、東京港、川崎港及び横浜港が世界の基幹航路から外れ、我が国経済に与える影響は極めて深刻であるとの危機感から、東京湾の国際競争力を強化するため、一層の連携を推進することとし、平成20年3月21日に基本合意書を締結しました。

# 2 京浜港の現状と問題点

## 「総合港湾」としての京浜港

- ◆ 東京港、川崎港及び横浜港からなる京浜港は、南北に約40km、東西に約8kmにわたる帯状の空間であり、陸域（臨港地区）および水域（港湾区域）を合わせて約2万haの管理エリアを有しています。
- ◆ 京浜港は、首都圏4千万人を支える物流拠点であるとともに、多様な機能を備えた「総合港湾」として、背後圏の住民生活や我が国全体の経済・産業活動に広く貢献しています。

### 物流機能（総合物流拠点）

#### ● 国内最大の取扱貨物量（3港合計値）

内質を含めた貨物量全体、輸出貨物量、輸入貨物量はいずれも国内最大となっている。

#### 【地区別の利用状況】

##### 東京港

- ・ 公共施設の取扱量が多く、外資では輸入の割合が高い。
- ・ 取扱貨物は、衣類や食料品など、暮しに直結する品目の比率が高い。

##### 川崎港

- ・ 民間施設の取扱量が多く、京浜港の輸用量全体の半数を占めるエネルギー系貨物の取扱が多い。
- ・ 公共施設では完成自動車（輸出）の割合が高い。

##### 横浜港

- ・ 公共、民間施設でほぼ同程度の取扱量となっている。
- ・ 重工業製品から生活雑貨品まで、幅広い品目を取り扱う。

#### 【全国取扱量の約4割のシェアを占める、外資輸出入コンテナ貨物の取扱】

全国港湾における取扱量シェア（2008年）

京浜	阪神	伊勢湾	その他港湾
40.7%（約696万TEU）	23.4%	16.4%	19.5%

### エネルギー・生産機能

#### ● 首都圏を支えるエネルギー生産基地

- ・ 民間ふ頭で生産されたエネルギーを首都圏に向け、幅広く安定的に供給
- ・ 重化学工業等の製造業が多数立地



### 都市機能

#### ● 観光・レクリエーション

- ・ 都市開発、マリナ、公園等

#### ● 都市活動の支援

- ・ 廃棄物処分場、下水処理施設等

### 環境機能、防災機能

#### ● 環境保全施設

- ・ 太陽光・風力エネルギー発電施設等

#### ● 防災施設

- ・ 広域防災拠点、耐震岸壁等

## ■ 京浜港の抱える問題点 (コンテナ物流面)

◆ 中国をはじめとするアジア港湾の躍進により、我が国港湾全体の国際競争力が大きく低下し、基幹航路の寄港数が減少しており、このままの状態が続けば、京浜港がフィーダーポート化する恐れも否定できません。

### 【海運業界の動向】

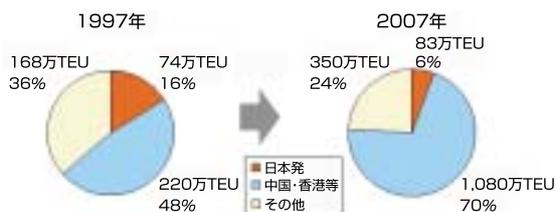
- 厳しい競争に晒される船会社が、コスト削減と運航効率向上に向け、基幹航路における大型船の投入と寄港地の絞込み

### 【世界的な物流を取り巻く状況】

- 国内製造拠点の海外移転
- アジア地域の経済発展
- 世界の生産拠点となったアジア地域から欧米等最終消費地へのダイレクト輸送増加

日本港湾を発着する貨物割合の減少

#### アジア／米国間における貨物シェア (北米航路・東航)



◎北米航路・西航、欧州航路(東航・西航)についても同様の傾向がある。

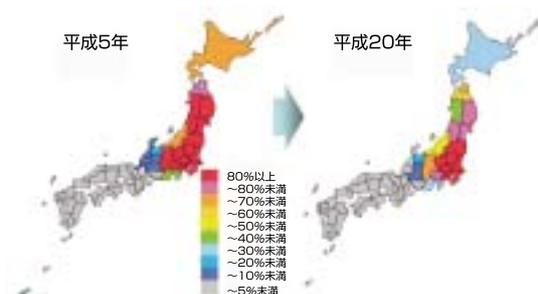
資料：日本海事センター調査により作成

### 【国内のコンテナ物流動向】

- 60を超えるコンテナ取扱港の整備
- 脆弱な国内輸送ネットワークと割高な輸送コスト

地方港から海外の主要港経由で輸出入される貨物の増加

#### 京浜港取扱シェアの比較 (輸出)



資料：「輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成5年、平成20年 国土交通省港湾局)により作成

## 京浜港が「フィーダーポート」に転落する恐れ



国際基幹航路の寄港状況

基幹航路	1998年	2008年
東京港寄港	25航路	22航路
横浜港寄港	26航路	21航路



### ※フィーダーポート化の問題点

積替えによる輸送日数の増加や輸送・在庫コストの増加により製品価格が上昇するなど、産業活動や住民生活に重大な支障を及ぼす恐れがあります。